第５部　課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持参ください。

第１７回
毎日パソコン入力コンクール
冬季大会
【課　題】
第５部　和文Ａ　小学生低・中学年
ことわざ・慣用句①
制限時間５分

【コンクール当日の注意事項】

１．この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。

２．団体責任者の指示にしたがい、１８桁の参加番号を半角数字で入力してください。

３．課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※参考文献：小学館　慣用句びっくりことば事典（文字数１，５００字程度）

＜課題文章の禁則文字について＞

毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでいるため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のＰＤＦファイルどおりに入力すると正解になります。

主催　毎日新聞社
一般社団法人　日本パソコン能力検定委員会

後援　総務省
文部科学省
厚生労働省
経済産業省 ほか

１行２８字詰で、つぎの文章を入力してください。

※ ↵ の箇所で改行（Enter）してください。

（級表示は、ミスカウント0の場合の入力めやすです）

へそで茶をわかす↵

ふくろのねずみ↵

まな板のこい↵

さるも木からおちる↵

てんさいはわすれたころにやってくる↵

きつねとたぬき↵

立つ鳥あとをにごさず↵

つるの一声↵

るいは友をよぶ↵

ぬかにくぎ↵ ←10級

馬の耳にねんぶつ↵

花よりだんご↵

↓8級

かえるの子はかえる↵

にがした魚は大きい↵

おににかなぼう↵

こいのたきのぼり↵

↓5級

ちりもつもれば山となる↵

↓3級

頭かくしてしりかくさず↵

すずめのなみだ↵

せいてはことをしそんじる↵

くさいものにふたをする↵

↓準2級

ほねおりぞんのくたびれもうけ↵

とんびにあぶらあげをさらわれる↵

来年のことを言えばおにがわらう↵

↓2級

身から出たさび↵

けんえんのなか↵

なきっつらにはち↵

よいっぱりの朝ねぼう↵

↵

二つへんじで↵

ためらうことなく、こころよくすぐしょうちする。↵

↓準1級

先生のてつだいを、二つへんじでひきうける。↵

↵

ちえをしぼる↵

　ありったけのちえで一生けんめい考えて、よいいけんをだそうとする。↵

　がっきゅうのみんなでちえをしぼって作り上げたげきなので、多くの人に見せたい。↵

↵

あいづちをうつ↵

　あいての話にちょうしをあわせる。↵

　あいづちをうちながら、話を聞く。↵

↵

朝めし前↵

　きわめてたやすいこと。↵

　これくらいのことは、朝めし前だよ。↵

↵

気にかかる↵　　↓1級

　あるものごとが心からはなれず、しんぱいである。↵

　かていか教室のガスゆわかしきをけしてきたかどうか気にかかった。↵

↵

けたが違う↵

　大きな差があって、くらべものにならないこと。↵

　ナイアガラの滝は、日本の滝とはけたが違う。↵

↵

耳をすます↵

　ちゅういして、じっと聞こうとする。↵

　「耳をすましてごらん。虫の音が聞こえるよ。」↵

↵

気が気でない↵

　心配でじっとしていられない。↵

　かみなりが鳴ると、今にも落ちはしないかと気が気でない。↵

↵

くびをつっこむ↵

ある物事にきょうみやかんしんを強く持ってかんけいする。
いろいろなおけいこにくびをつっこんでいるのでいそがしい。

気がもめる
気にかかって落ちつかない。やきもきする。
約束した時間に友達が来ないので、気がもめる。

ばつがわるい
その場のちょうしがわるい。きまりがわるい。
父にしかられているところをともだちに見られ、ばつがわるかった。

ひとたまりもない
かんたんに打ちくずされる。ちょっとの時間も持ちこたえられない。
どんなに丈夫な家でも、今度の大きな台風には、ひとたまりもないだろう。

はめをはずす
ついおもしろくてちょうしにのり、ていどをこしてしまう。
そつぎょうしきの日、ともだちと歌ったりさわいだりして、はめをはずしていたら、母にしかられた。

お手上げ
全くどうにもしようがなくなること。全くどうすることもできなくなること。
かのじょのシュートはきょうれつなので、キーパーはお手上げだ。

一から十まで
何から何まですべて。
かれは一から十までせわをしてもらっている。

はがたたない

　あいてとの力がちがいすぎて、とてもかなわない。

　今日のテストはとてもむずかしくて、はがたたなかった。

はなが高い

　とくいになっているようす。

　妹は先生に作文をほめられてはなが高いらしい。

目がこえる

　いろいろな物をみて、良い悪いの区別が分かるようになる。

　着物のことは、目がこえている祖母に選んでもらうとよい。

あせ水たらす

　ろうくをいとわず、一生けんめいはたらく。

　わたしの家は父母がわかいじだいから、あせ水たらしてともばたらきし、たてたものだ。

一目を置く

　相手が自分より優れていることをみとめて、敬う気持ちを持つ。

　彼のパソコンについての知識には、先生も一目を置いている。

１行２８字詰で、つぎの文章を入力してください。

※ ↵ の箇所で改行（Enter）してください。

（級表示は、ミスカウント0の場合の入力めやすです）

へそで茶をわかす↵
ふくろのねずみ↵
まな板のこい↵
さるも木からおちる↵
てんさいはわすれたころにやってくる↵
きつねとたぬき↵
立つ鳥あとをにごさず↵
つるの一声↵
るいは友をよぶ↵
ぬかにくぎ↵ ←10級
馬の耳にねんぶつ↵
花よりだんご↵
↓8級
かえるの子はかえる↵
にがした魚は大きい↵
おににかなぼう↵
こいのたきのぼり↵
↓5級
ちりもつもれば山となる↵
↓3級
頭かくしてしりかくさず↵
すずめのなみだ↵
せいてはことをしそんじる↵
くさいものにふたをする↵
↓準2級
ほねおりぞんのくたびれもうけ↵
とんびにあぶらあげをさらわれる↵
来年のことを言えばおにがわらう↵
↓2級
身から出たさび↵
けんえんのなか↵
なきっつらにはち↵
よいっぱりの朝ねぼう↵
↵
二つへんじで↵
　ためらうことなく、こころよくすぐしょうちする。↵
↓準1級
　先生のてつだいを、二つへんじでひきうける。↵

↵
ちえをしぼる↵
　ありったけのちえで一生けんめい考えて、よいいけんをだそうとする。↵
　がっきゅうのみんなでちえをしぼって作り上げたげきなので、多くの人に見せたい。↵
↵
あいづちをうつ↵
　あいての話にちょうしをあわせる。↵
　あいづちをうちながら、話を聞く。↵
↵
朝めし前↵
　きわめてたやすいこと。↵
　これくらいのことは、朝めし前だよ。↵
↵
気にかかる↵
↓1級
　あるものごとが心からはなれず、しんぱいである。↵
　かていか教室のガスゆわかしきをけしてきたかどうか気にかかった。↵
↵
けたが違う↵
　大きな差があって、くらべものにならないこと。↵
　ナイアガラの滝は、日本の滝とはけたが違う。↵
↵
耳をすます↵
　ちゅういして、じっと聞こうとする。↵
　「耳をすましてごらん。虫の音が聞こえるよ。」↵
↵
気が気でない↵
　心配でじっとしていられない。↵
　かみなりが鳴ると、今にも落ちはしないかと気が気でない。↵
↵
くびをつっこむ↵

ある物事にきょうみやかんしんを強く持ってかんけいする。
いろいろなおけいこにくびをつっこんでいるのでいそがしい。

気がもめる
気にかかって落ちつかない。やきもきする。
約束した時間に友達が来ないので、気がもめる。

ばつがわるい
その場のちょうしがわるい。きまりがわるい。
父にしかられているところをともだちに見られ、ばつがわるかった。

ひとたまりもない
かんたんに打ちくずされる。ちょっとの時間も持ちこたえられない。
どんなに丈夫な家でも、今度の大きな台風には、ひとたまりもないだろう。

はめをはずす
ついおもしろくてちょうしにのり、ていどをこしてしまう。
そつぎょうしきの日、ともだちと歌ったりさわいだりして、はめをはずしていたら、母にしかられた。

お手上げ
全くどうにもしようがなくなること。全くどうすることもできなくなること。
かのじょのシュートはきょうれつなので、キーパーはお手上げだ。

一から十まで
何から何まですべて。
かれは一から十までせわをしてもらっている。

はがたたない

　あいてとの力がちがいすぎて、とてもかなわない。

　今日のテストはとてもむずかしくて、はがたたなかった。

はなが高い

　とくいになっているようす。

　妹は先生に作文をほめられてはなが高いらしい。

目がこえる

　いろいろな物をみて、良い悪いの区別が分かるようになる。

　着物のことは、目がこえている祖母に選んでもらうとよい。

あせ水たらす

　ろうくをいとわず、一生けんめいはたらく。

　わたしの家は父母がわかいじだいから、あせ水たらしてともばたらきし、たてたものだ。

一目を置く

　相手が自分より優れていることをみとめて、敬う気持ちを持つ。

　彼のパソコンについての知識には、先生も一目を置いている。